授業科目名:	教員の免許状取得のため		単位数:	担当教員名:海老島 均	
スポーツ社会学		の選択科目	2 単位	担当形態:単独	
実務内容					
(実務家教員の場合)	ĺ				
科目		教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 保健 体育)			
施行規則に定める		教科に関する専門的事項「体育原理、体育心理学、体育経営管理			
科目区分又は事項等		学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)			

「学位授与の方針」との関係

- ・共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。
- ・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけているこ

授業の到達目標及びテーマ

- (1)スポーツ文化の概念及び近代スポーツの成立と展開の様相について説明できる。
- (2)現代スポーツと社会や文化との関係性について例を挙げて説明できる。
- (3) 現代スポーツで生じている問題の社会・文化的背景について例を挙げて説明できる。

授業の概要

現代のスポーツは、単なる個人的な営みをはるかに超えて、社会とのつながりを強く持つようになってきた。本授業では、スポーツの社会的意味や現在話題になっているスポーツ現象を中心に、わかりやすく、するスポーツ、みるスポーツ、支えるスポーツについて説明していく。また、スポーツをめぐる様々な問題点を通して、スポーツと社会の関連を捉え、文化の視点から考察していく。

授業計画

第1回:近代スポーツの成立と展開

第2回:文化としてのスポーツ

第3回:日本のスポーツ文化

第4回:グローバル化するスポーツ

第5回:アダプテッドスポーツ

第6回:スポーツとジェンダー

第7回:スポーツと教育

第8回:スポーツと社会化

第9回:スポーツ・ファンの文化

第10回:スポーツ・フォー・オール

第11回:スポーツと地域社会

第12回:職業としてのスポーツ

第13回:スポーツと政治・権力

第14回:スポーツとドーピング

第15回:スポーツとナショナリズム

定期試験

*スクーリングは第1·2·5·6回の内容が中心となる。

スクーリングでの学修内容

近代スポーツの成立と発展、グローバル化の様相、文化としてのスポーツの捉え方、障害者や女性のスポーツの近現代を中心に解説していく。アクティブラーニングの手法も用いる。 (第 | 回、第 2 回、第 4 回、第 5 回、第 6 回の内容を主とし、他の回の内容も交えて講義す

(第1日、第2日、第4日、第3日、第0日の内谷を王とし、る。)

教科書

井上 俊・菊 幸一編著「よくわかるスポーツ文化論」(改訂版)、ミネルヴァ書房、2020

参考文献

菊 幸一ほか編著「現代スポーツのパースペクティブ」大修館書店、2006 他は必要に応じて適宜紹介する。

学生に対する評価

レポート評価(25%)、スクーリング評価(25%)、科目修得試験(50%)の割合で総合して評価する。